

日本教育保健学会へのご加入を心から歓迎します！

日本教育保健学会は、教育の視点から深く子どもの健康課題を把握し、学校を軸にした子どものための保健活動のあり方について継続的に交流するための研究会（「日本教育保健研究会」）として、1994年3月に誕生しました。

その10年後（2004年3月）、教育保健研究の進展をめざして発足したのが「日本教育保健学会」です。

本学会では、①年1回の学会の開催 ②研究誌『日本教育保健学会年報』を刊行し、総説や原著論文のほか、年次学会における討議の概要について報告③ニューズレター（年3回）を通じた会員同士の研究交流 ④研究フォーラム（年2回）の開催など、教育保健研究の成果の普及にも努めています。

2016年6月には、これまでの研究活動のまとめとして、2年間の集団的な研究討議を経て『教師のための教育保健学』（東山書房）を公刊しました。



本学会では、実証的・実験的実践を研究活動の柱にすえ、①子どもの教育現実のなかに保健現実をとらえ ②保健現実が提起する問題を教育の課題として位置づけ ③問題解決のための実験的実践や保健現実の実証的解明に挑み ④そこで得られた知見の教育学的考察を通して、教育保健学の理論構築をめざしています。

教育保健に関する原理的・歴史的研究とともに、教育現実＝保健現実に根ざした「研究の臨床性」は、教育保健研究の方法論上の大きな特徴といえます。本学会が、養護教諭をはじめとする現場教員などの実践者と大学等の研究機関に所属する研究者との対等・平等な関係での共同討議を大切にしているのは、そうした理由からです。

教育保健研究のさらなる深化と広がりのためには、医学・保健分野のみならず、子どもの教育現実＝保健現実に関心をもつ多様な分野の研究者、学校・保育所・病院などの現場で日々子どもの成長を願って実践されている方や子どもの親たち、あるいは、かつて〈子ども〉であったことのある大人の方々の参加が不可欠です。

みなさんの、本学会への加入を心から歓迎します。

入会案内

日本教育保健学会へ入会を希望される方は、

①メールによる入会方法

②ご郵送による入会方法

どちらかにより「入会申込書」をご提出ください

日本教育保健学会事務局

〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1-15

札幌保健医療大学内

日本教育保健学会事務局 事務局長 欠ノ下郁子

TEL：011-788-6804（内線1312：研究室直通）

e-mail：office@educational-health.jp